

令和5年1月31日（火） 佐治地域振興会議

エネルギーの地産地消による 持続可能なまちづくりに関する アンケート調査報告について

鳥取市 経済観光部



中核市

鳥取市

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

調査の概要

1

目的

鳥取市は、佐治町全域をモデル地域に指定し、国の「脱炭素先行地域」に選定されることで地域振興と安全・安心に生き続けられるまちづくりを目指しています。

これには、地域住民のみなさまに地域の豊かな資源を活用した再生可能エネルギー由来の電力を使う取組にご協力いただくことが重要であり、このたび事業推進の参考とさせていただくためアンケート調査を実施いたしました。

調査の実施概要

(1) 調査期間

令和4年12月下旬～令和5年1月13日（金）

(2) 調査対象

鳥取市佐治町自治会加入全世帯：622世帯

(3) 調査方法

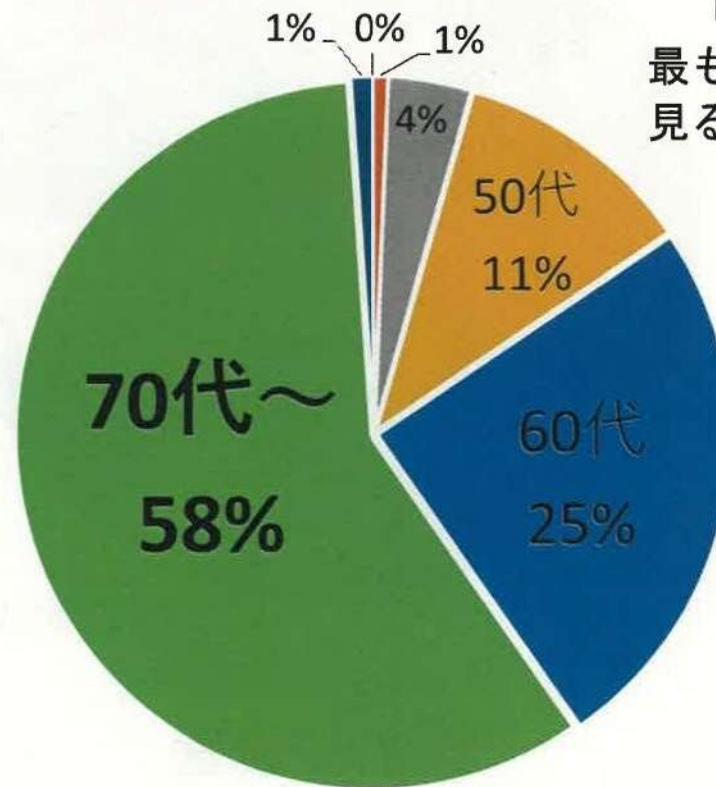
区長を通じアンケート用紙を配布・回収

回答者数

290世帯（回答率46.6%）

回答者の属性

年代

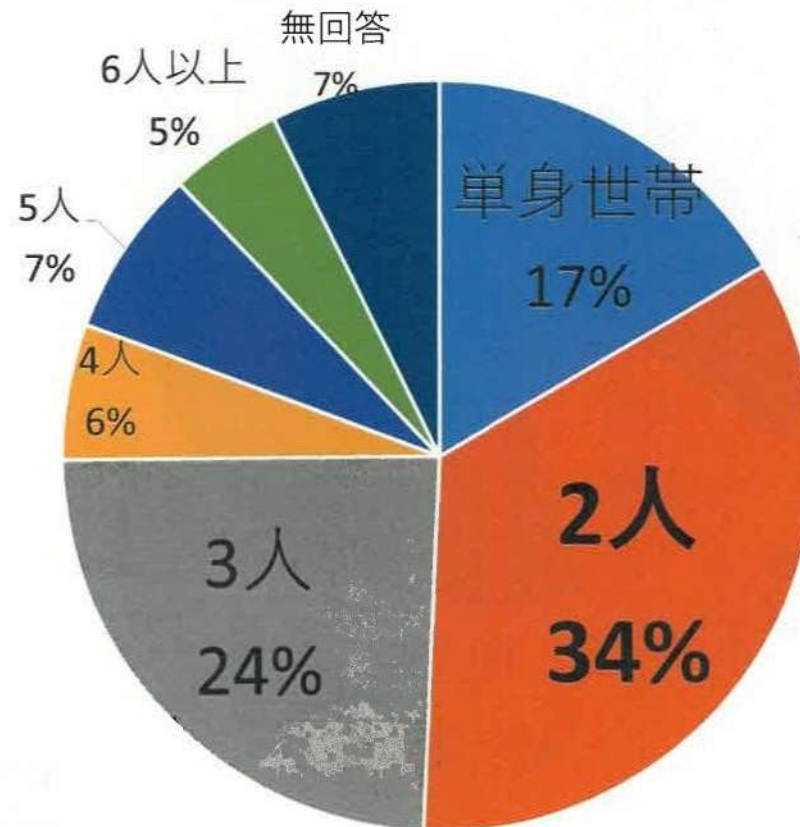


「70代以上」の回答が58%と最も多く、50代以上という括りで見ると、94%を占めました。

- ~20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代~
- 無回答

回答者の属性

家族の人数

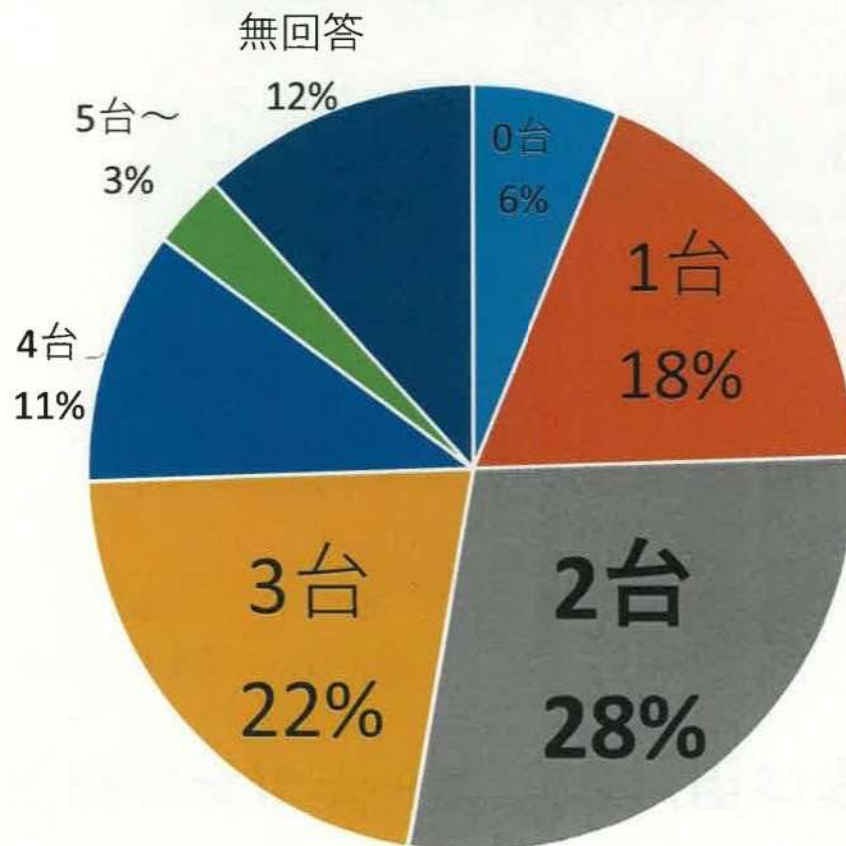


「2人世帯」が34%と最も多く、次いで、「3人世帯」、「単身世帯」と続きました。少人数世帯が多いことが特徴となっています。

■ 単身世帯 ■ 2人 ■ 3人 ■ 4人 ■ 5人 ■ 6人以上 ■ 無回答

回答者の属性

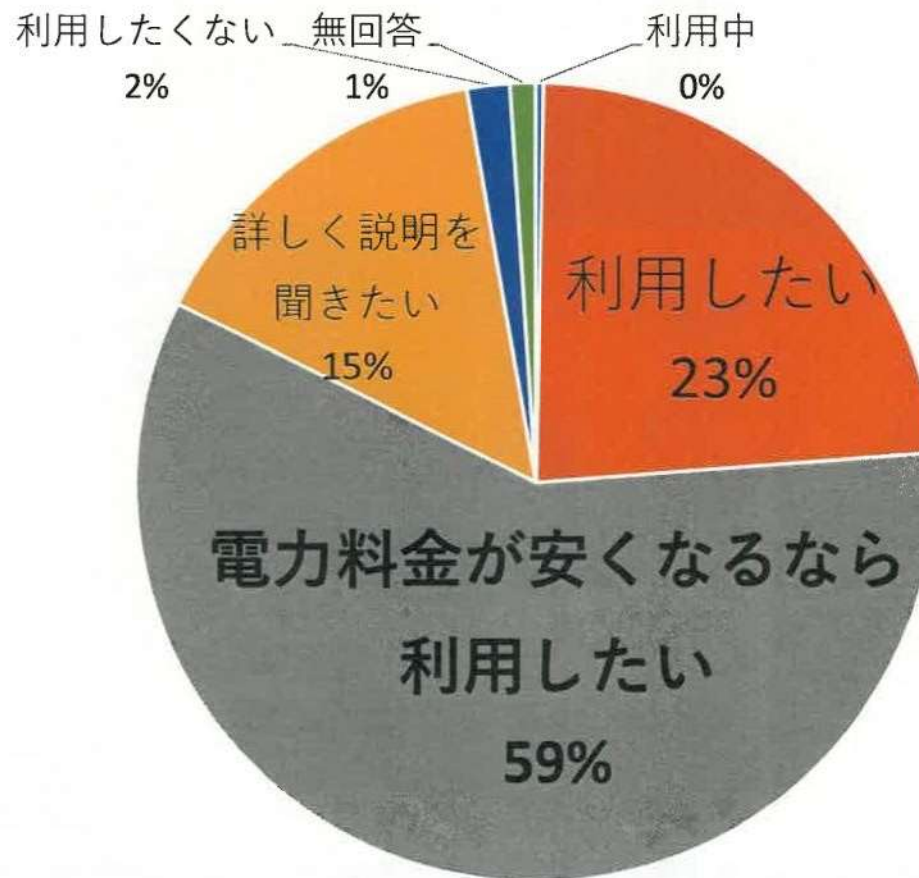
自動車の保有台数



自動車の保有台数としては、「2台」が最も多く、次いで、「3台」が22%、「1台」が18%と続きます。「0台」という回答も6%ありました。

■ 0台 ■ 1台 ■ 2台 ■ 3台 ■ 4台 ■ 5台～ ■ 無回答

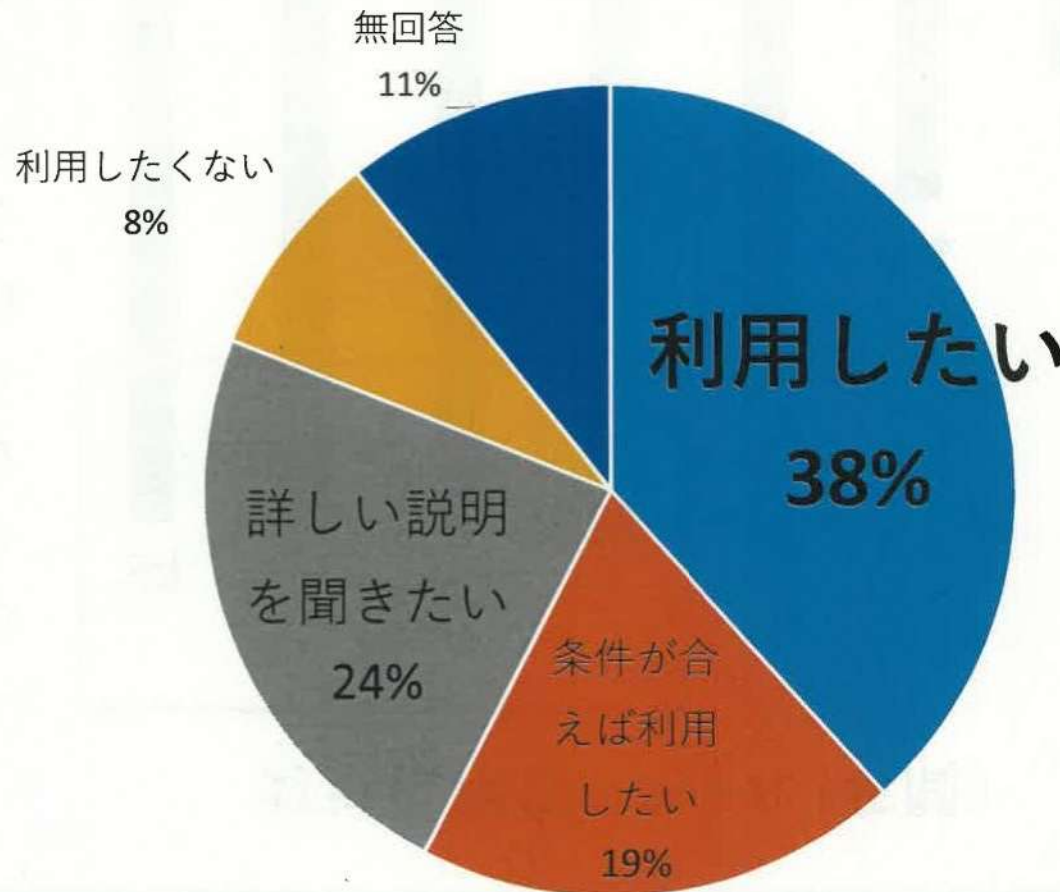
再生可能エネルギー電力の利用の意向について



再生可能エネルギー電力の利用意向について伺ったところ、「電力料金が安くなるなら利用したい」が59%。「利用したい」、「詳しい説明を聞きたい」を含めると、97%と多くの方が関心を寄せていただいている結果となりました。

■ 利用中 ■ 利用したい ■ 電力料金が安くなるなら利用したい ■ 詳しく説明を聞きたい ■ 利用したくない ■ 無回答

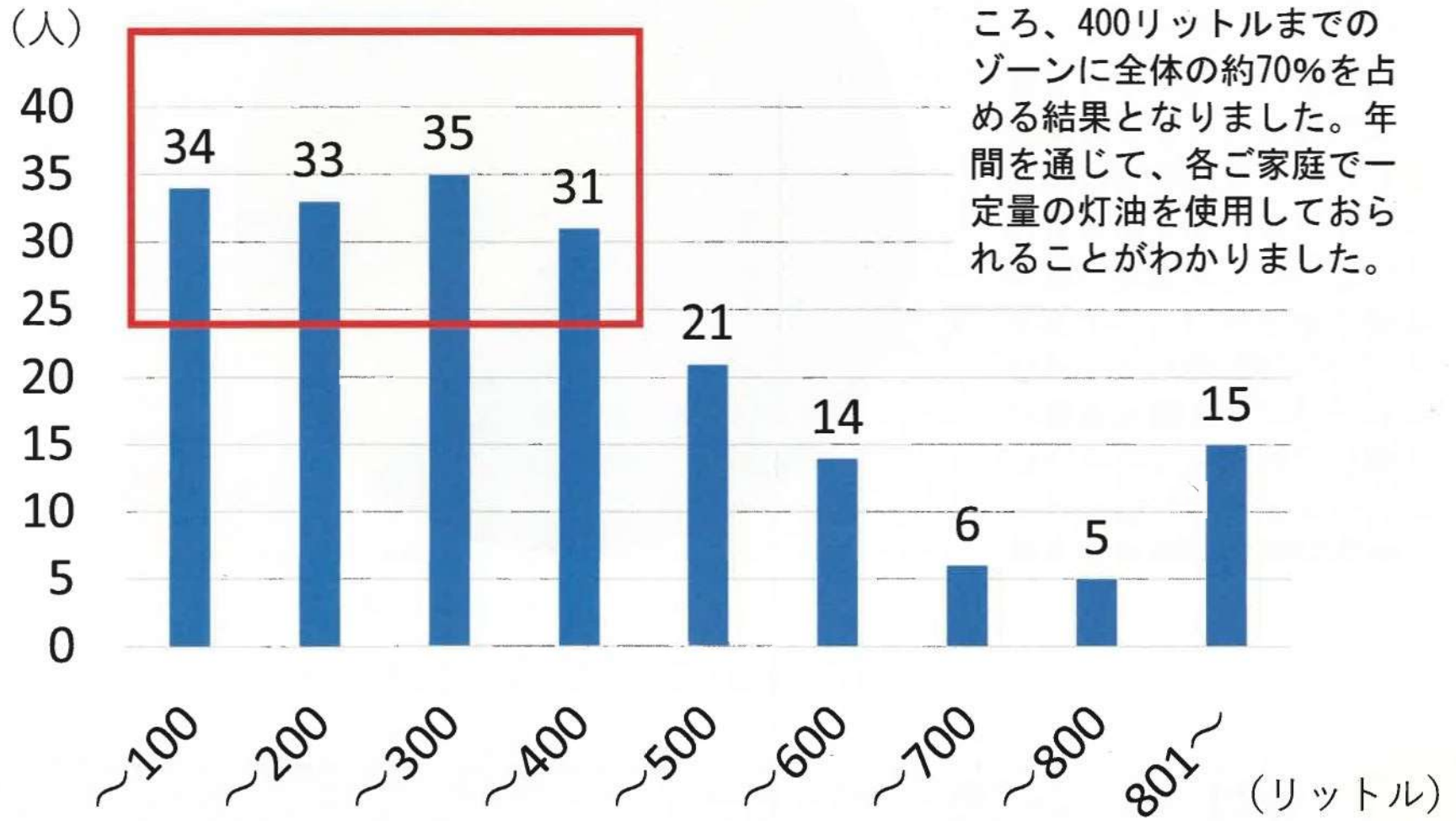
自宅の断熱改修等の意向



自宅の断熱改修等の意向について伺ったところ、「利用したい」が38%。「詳しい説明を聞きたい」、「条件が合えば利用したい」を含めると、81%と多くの方が関心を寄せていただいている結果となりました。改修の検討条件として、「費用面による」とされた方が多くいらっしゃいました。

■ 利用したい ■ 条件が合えば利用したい ■ 詳しい説明を聞きたい ■ 利用したくない ■ 無回答

灯油使用量:リットル(年間)



年間灯油使用量を伺ったところ、400リットルまでのゾーンに全体の約70%を占める結果となりました。年間を通じて、各ご家庭で一定量の灯油を使用しておられることがわかりました。

調査結果

8

灯油の使用量を地域全体で見ると

ご回答いただいた193世帯の灯油使用量を合計すると・・・

77,000ℓ

仮に、灯油を全て再生可能エネルギーに置き換えたとすると、

約191トン

のCO₂削減につながります。

《環境省が示す計算の根拠》

灯油の1ℓあたりのCO₂排出量 ⇒ 2.489kg/ℓ なので・・・

$2.489\text{kg}/\ell \times 77,000\ell = 191,653\text{kg}$

10年後の将来を考えると不安なこと

生活交通に関係
するようなこと
が上位に

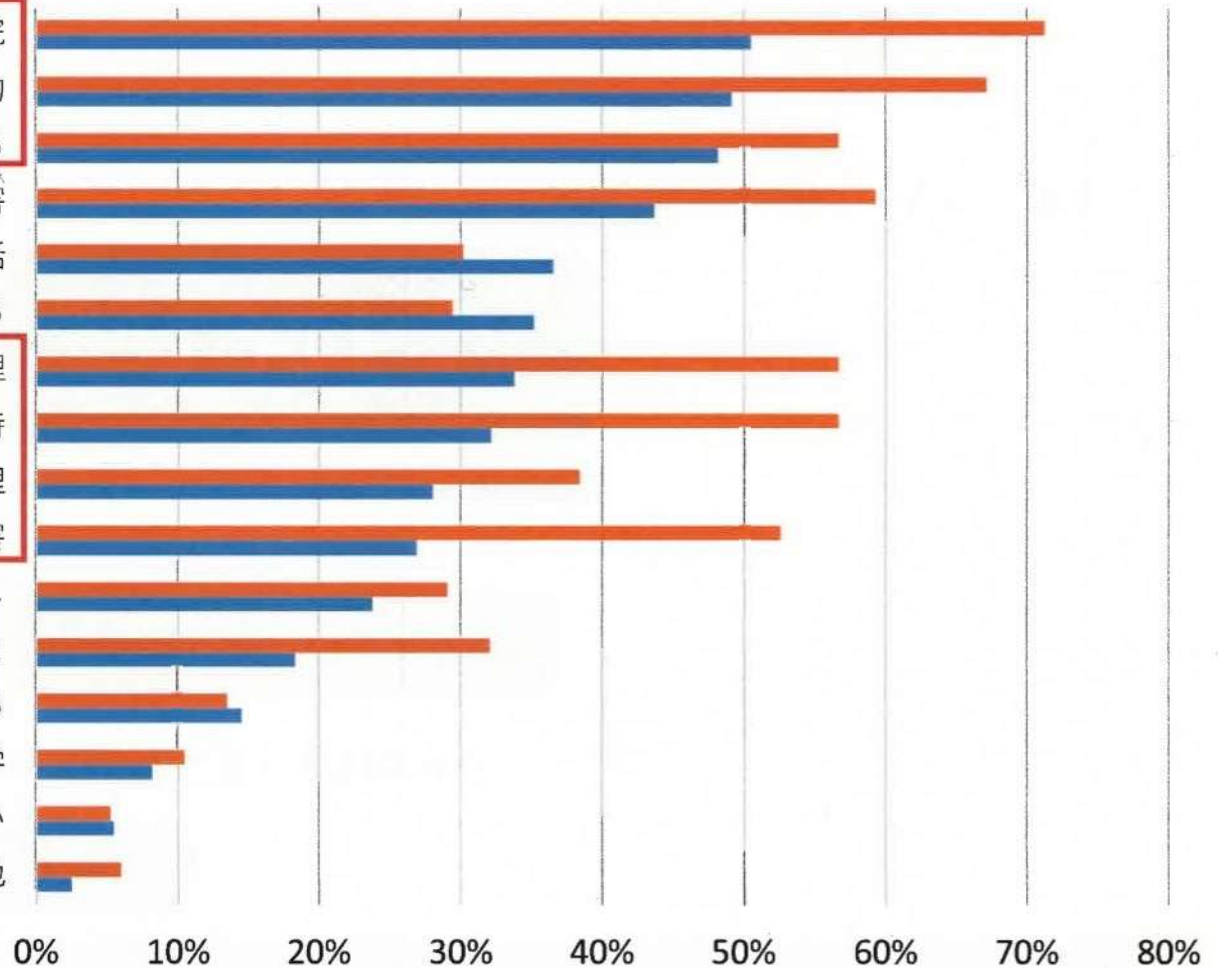
病院への通院
食料品・日用品の買い物
交通の利便性が悪くなる

サル、イノシシなどの獣被害
ご家族のお世話
救急医療機関が遠く搬送に時間を要する

H29アンケート
より大きく増加
している

農地や森林の維持管理
集落機能の維持
お墓の管理
豪雨災害などの自然災害

預貯金の引き出し
ひとり暮らしになること
町内に働き先がなくなる
学校への通学
スマートフォンなどの電波が届かない
その他



※H29は、佐治地域で実施された「住民の生活状況等に関する住民アンケート」

○対象者：中学生以上の住民1,896人
○回収者：954人(50.3%)

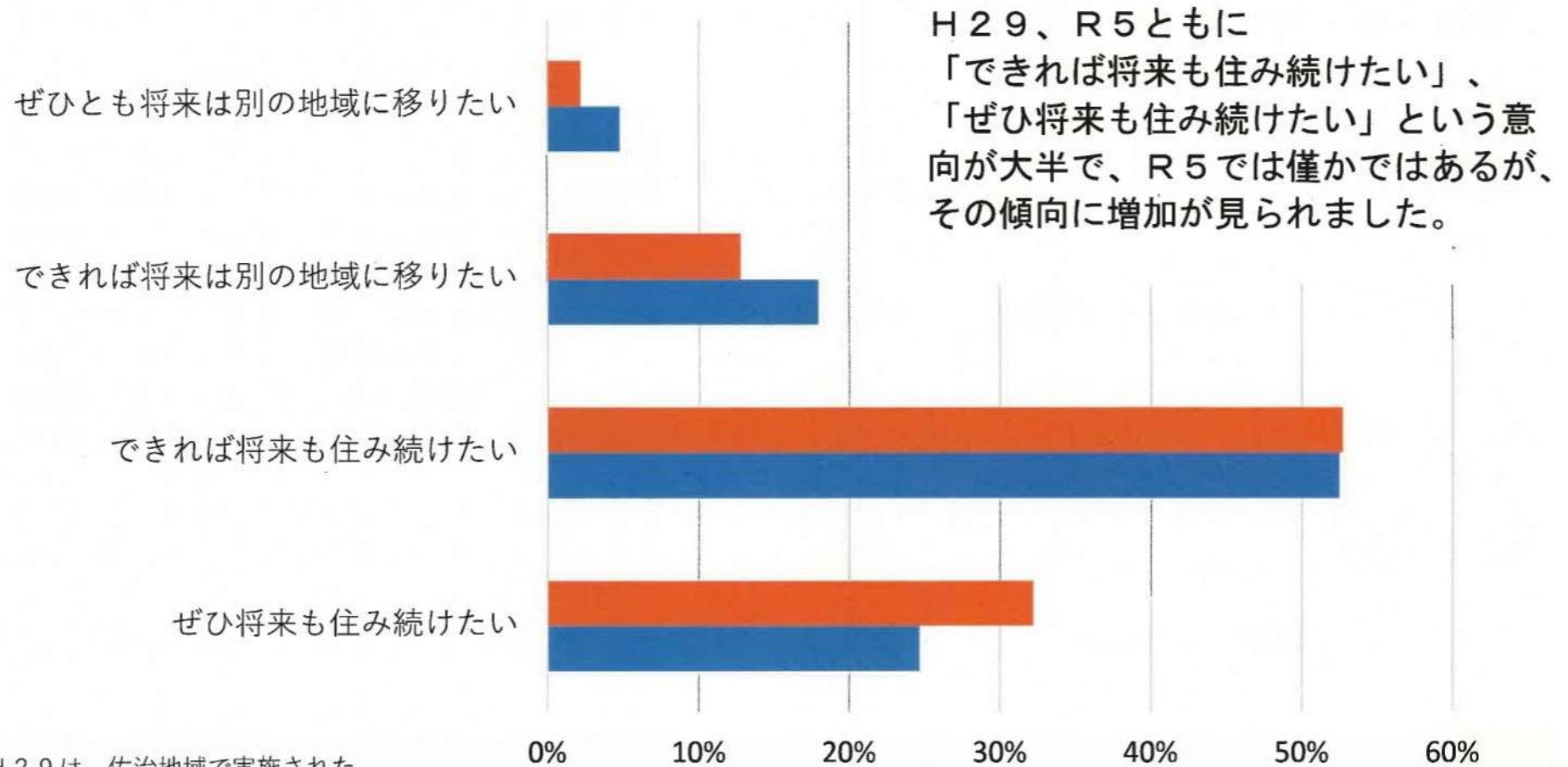
■ R5 ■ H29 ※

「10年後の生活を考えると不安なことは何ですか？」

その他記載欄より

- ・地域にコンビニがなく不便。トスクもスタンドもなくなり残念だ。市内で住みにくい地域の先進地NO1になりつつある。10年後は必然的に村じまいを考える時期になると思う。残された住民に負担がのしかかる。
- ・認知症への懸念
- ・自然破壊の象徴、風力発電、ソーラー発電の廃止
- ・佐治町にAコープがなくなって困る
- ・今はいいが一人暮らし先が見えている？
- ・近くにスーパーが無い事、自然を乱開発する事、風力発電はだめだ、大規模太陽光発電反対
- ・防火用水の確保ができていない
- ・スタンド、トスク等がなくなり老後が心配
- ・積雪の除雪対策（道路、住宅の屋根）、集落内の人口減少と高齢化になること
- ・車の運転ができなくなる、ゴミ出し所までが遠い
- ・高齢化の進行によるじり貧
- ・交通便・内科医療不便・買物など
- ・家の個数がどんどんなくなっていくと思います。空き家ばかり。森林作業時に情報端末の電波が圏外のため、外傷があった場合連絡することができない。雪かきをする体力や機械を管理する自信がない。
- ・後継者問題
- ・行政がフォローしてくれなくなっていること。税金、料が高額になること。
- ・路線バスの維持（このままずっと）
- ・集落の道路掃除など人手が足りなくなっている。
- ・佐治は放っておかれていく感がある。同じ税を払っているのに...佐治に住み続けたいけど何かむなしくなってくる。

将来の居住希望



※H29は、佐治地域で実施された「住民の生活状況等に関する住民アンケート」

○対象者：中学生以上の住民1,896人
○回収者：954人(50.3%)

■ R5 ■ H29 ※